

賛成多数で……

介護保険料また引き上げ!



基準額で、年間60,000円から
67,200円へ引き上げ

介護保険制度は2000年にスタートしてから15年目を迎えました。昨年の6月に可決された『医療・介護総合法』により、保険法が改定され、15年目の今年4月1日から実施されます。今回の改悪は、「要支援を介護保険からはずす」「介護報酬引き下げ」そして、「保険料の値上げ」など過去最悪です。

まさに「保険あって介護なし」・・・発足当初の「介護は社会全体でささえる」の理想とは程遠いのが現実です。自立・自助が強調され、家族が同居していればサービス利用が制限されたり、特別養護老人ホームの入所を希望しても入れず「介護難民」と言われる人も増えています。

今回、3年ごとの見直しで、第6期（2015年～2017年）の保険料改正条例案が上程され賛成多数（客下は反対）で可決されました。保険料は基準額で月額5,000円から5,600円への引き上げです。下表のように、引き上げを抑えるために、前回（2012年）は、基金残高2億6千万円に対し1億5千100万円を取り崩していますが、今回は基金残高はほとんど変わらない2億5千万円もあるのに、取り崩し額はわずか2千100万円です。

市民の暮らしは厳しくなるばかりです。
払える保険料へ……

「介護給付費準備基金」の取り崩し額はわずかであり、基金は取りすぎた保険料です。民間保険の場合、余剰金が発生したときは、各被保険者に配当金として還元します。

市民の負担を減らすため、全額取り崩している自治体もあります。昨年の消費税値上げが市民を苦しめているなかでの負担増は、年金暮らしの市民をさらに苦しめることになりません。基金は全額取り崩してでも、引き上げはするべきではありません。

新年度予算は骨格予算……総額162億円（一般会計）
全体的に5%削減

新市長に変わったばかりの新年度予算は骨格予算となり、全体的に5%削減となっています。懸念の『図書館建設』は白紙、前島大型開発は道路拡張を優先して一部凍結。『子ども医療費無料化』は、現小学3年生から6年生（年度末）まで拡がりました。

収賄事件における職員の倫理に関する調査について

今年1月26日に開かれた、元副市長の公判において、“前市長及び職員がお中元・お歳暮を受け取っていた”事実がはっきりしました。

このことによって、昨年7月に「業者から便宜を受けている者は存在しなかった」と発表された報告書では、ウソの発表がされたのではないかと。また、なぜこのような発表になったのかを質問しました。

(問) 便宜を受けている者は本当にいなかったのか。
部長(答) 利害関係者からの^{せんべつ}賤別、金銭及び飲食の接待を受けていた事実はなかったということでお答えしている。

(問) お中元・お歳暮はなかったのか。
部長(答) 一部の職員はもらっていた。

(問) “便宜とは利益になるようなことや特別な計らいをする”ことだ。その中にお中元・お歳暮は入らないのか。入れるべきだったのではないのか。
部長(答) 申し訳ございませんでした。入れるべきだったと思います。

(問) 市民の信頼を回復するためには、まず何事も隠さず公表して、謝るべきところは率直に謝ることが第一ではないのか。
市長(答) 全くその通りだと思います。信頼回復には最大限努めていきたい。

前市長も受け取っていたのですから、それを隠すために「いなかった」と報告をせざるを得なかったのではないのか。市民をうらぎる“隠蔽体質”には、呆れてしまいます。

市民オンブズマンが発表した“情報公開度ランキング”でも、上天草市は15位から31位に大きく後退しています。情報公開は、議会も含めてもっと進めていくべきです。議会中継もできるようになれば、発言の少ない議会も活発になるのではないのでしょうか！また、市民の関心も高くなり、傍聴者も増えるのではないかと思います。

宮下しょう子の
ひまわり新聞

2015年4月
～第67号～

日本共産党上天草市委員会
上天草市大矢野町中 4435-9
Tel0964-57-0408 Fax0964-57-0410

宮下しょう子自宅
上天草市姫戸町姫浦 2381
Tel・Fax0969-58-2901 携帯 090-5283-3100

《介護給付費準備基金》

・ 3年前(2012年)	約2億6千万円のうち	取り崩し額	1億5千100万円
・ 今回(2015年)	約2億5千万円のうち	取り崩し額	2千100万円

《3月議会一般質問》

- ・ 収賄事件における職員の倫理に関する調査について
- ・ 新市長のお考えをお伺いします
 - ① 図書館建設計画について
 - ② 『子ども医療費無料化』について
 - ③ 『住宅リフォーム助成制度』について
 - ④ 『松島～八代航路』について
- ・ スパ・タラソについて
- ・ 樋島クラゲ加工場撤去について



子ども医療費は 小学6年生まで拡充！

中学3年生までの拡充要望（昨年9月議会）に対して、前市長は「近いうちに制度改正に向けて決断したい」と答弁していましたが、新市長は「現実を鑑みて小学6年生という決断をした」と答弁。

（問）小6までの拡充については一定の評価をするが、県内45市町村でも遅れている方だ。どこの自治体も財政状況は同じだと思うが、どこに力を入れるかだ。

不費不急なものを改め、早い時期にさらなる拡充をしていただきたい。

市長（答） 議事録を読み返したが、はっきり中3まで導入するという発言はされていない。経済対策も含めて子育て支援については、別の形でも色々検討している。複合的な形で支援をしていきたい。

（問）県自体が非常に遅れている。県に対して拡充の申し入れをすべきではないか。

市長（答） 市議会議長会でも、その都度知事に対して要望書を提出していた。市長会でも他の自治体との協力を図っていきたい。



※県内市町村の実施状況
(H27年1.1現在)

小3・・・4市
小6・・・3市2町
中3・・・6市19町7村
高3・・・1市2町1村

住宅リフォーム助成制度について ……政府も認めた臨時交付金を活用して 制度復活を！

現在、開会中の国会において、臨時交付金（地域活性化地域住民生活等緊急支援交付金）の使い道について、日本共産党の田村貴昭衆議院議員の質問に、政府は「活用できる」と認めています。

（問）補正で国の臨時交付金が1億8千万円あったが、住宅リフォーム助成制度に活用することを考えられなかったのか。

部長（答）実施計画を、2月末までに作成する必要があったため、精査する時間がなく見送った。

市長（答）執行部側に「導入を考えてもいいのではないかと提案したところであります。今しばらく検討させていただいて、6月議会ではご回答できるようにしたい。

“助成制度があるから思い切ってリフォームしよう”という人を増やすためには、200万円や300万円では効果がありません。せめて、前回実施した当初の1千万円の予算を組んで欲しい。天草市では好評で補正予算まで組んでいます。

スパ・タラソへの交通手段について

市民から「現在、スパタラソからの送迎は、週1回だけで不便だ。もっと増やしてほしい」とのお手紙が寄せられました。指定管理者への問合せでは、「財政的にこれ以上の送迎はできない」との返答でした。

（問）もともと健康増進・医療費削減という目的もあったはずだ。もっと利用が増えるよう市としても協力できるのではないか。

経済振興部長（答） スパ・タラソまで運行している路線バスがあるが、姫戸・龍ヶ岳は無いので不便を感じているところです。今後、慎重に状況を調査して対応を考えたい。

（問）昨年から何度も提案しているが、交通弱者のために、スクールバスの空き時間を利用して、市民のために活用している自治体もある。それは難しいことか。



教育部長（答） 国庫補助で運営しております。そういった趣旨、目的からしますと、児童生徒の安全確保という観点から困難だと思っています。

（問）例えば『スクールバス住民利用条例』などついたり、福祉バスとして利用している自治体もある。健康増進、医療費削減と予防という福祉面から考えられないか。

市長（答） もし、運行を頼むのであれば、また別のお金を負担してお願いするということができないのかなと思います。指定管理者との協議も必要だと思います。先ずはそのへんから始めたいと思いますのでご理解をいただければと思います。

松島～八代航路について

国の補助金を使って検証もされましたが、『報告書』では“赤字額が大きく再開は難しい”という結果でした。

しかし、今も再開の要望は大きく「何とか客船だけでも再開して欲しい」という声が寄せられました。

漁師さんは、船での出荷ができなくなり、トラックでの出荷で費用もかかり、時間的にも体力的にも無理をしているということです。また、山菜や野菜の出荷もできなくなり、車での病院通いも長距離運転で事故も心配です。子ども達の高校の選択肢も減ってしまいました。

（問）海外からの大型クルーズ船も来ているし、観光面でも利用できる。八代市や県との話し合いで、何とか再開できないものか。

市長（答） 私はもともと八代とは縁のある地域の出身なので、何とかしたいという気持ちは非常にありますが、ハードルも確かに高いのも事実です。ただ、仮に市からの補助が現実的になっても、赤字補填をするということで、運行する民間は黒字になることはないわけで、そこまでリスクを負ってやるところは出てこないのではないかと思います。ただ、八代市長とも話したいと思っています。